

# Veneno Technologies(株)

(茨城県つくば市, 代表取締役CEO 久野孝稔)

2020年7月9日設立、2023年5月 AISolスタートアップ 第1号認定

## 世界を変える小さなタンパク質、DRP。 AIST発技術とAIで設計から生産まで一気通貫。

主な技術・製品：

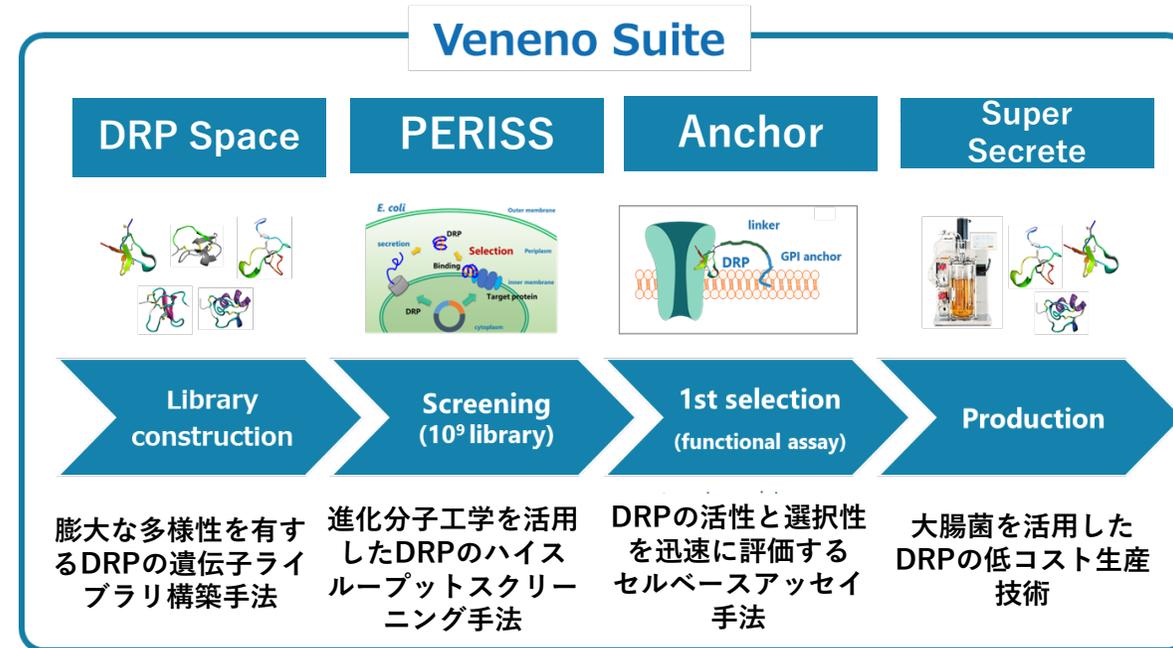
# DRP製品開発プラットフォーム「Veneno Suite™」

Veneno Technologies株式会社はDRP (Disulfide-Rich Peptides) に特化し、ライブラリ設計—スクリーニングAI最適化—発現/生産を一体化。膜タンパク質/イオンチャネルを中心とする難標的に対し、DRP医薬/DRP農薬の開発を加速します。

この基盤は産総研 (AIST) の機能性ペプチド探索技術に根ざし、現在も産総研との共同研究のもとAIによるDRPの高機能化を推進しています。

DRP (Disulfide-Rich Peptide):

20-80アミノ酸残基から成るペプチドで分子内に3つ以上のジスルフィド結合を有し、堅固な分子構造を持つことを特徴とします。DRPはヒトも含め広く様々な生物に見られ、動物の毒液中の主要成分としても利用されている生理活性ペプチドです。特にイオンチャネルやGPCRなどの膜タンパク質に対する優れた天然の制御分子の宝庫で、高い生物活性と選択性、優れた分子安定性 (pH、熱、酵素) により、次世代の創薬モダリティとして近年注目を集めています。



2025年8月時点

AIST Solutions スタートアップ部 <https://www.aist-solutions.co.jp/>